


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立あきる野学園 肢体不自由・知的障害		基	通学区域	【肢体不自由】あきる野市・羽村市・日の出町・檜原村・福生市 【知的障害】昭島市・あきる野市・日の出町・檜原村		
		児童・生徒が主体性をもち、豊かな地域生活を送れるように、一人一人の児童・生徒を大切にしたい学校			進路実績	肢体不自由部門:福祉就労5名、知的障害部門:企業就労17名、福祉就労11名 その他5名(知的障害部門企業就労率 51.5%)		
基本	所在地	〒197-0832 あきる野市上代継123番地1	電話番号	042-558-0222	本	教育課程の特徴	①	小学部からの系統性を重視し一貫したキャリア教育の展開
	アクセス	(1) JR五日市線 武蔵引田駅下車徒歩9分 (2) (3)		情			②	高等部段階における作業学習・就業体験・現場実習を通じ自立した人間の育成。
本	設置学部	肢体不自由(小学部・中学部・高等部) 知的障害(小学部・中学部・高等部)			報	副籍実施状況	③	医療的ケアを含む保健指導や体育指導を通じ、健康の保持・増進。
	幼児・児童生徒数	肢体不自由 49名(小学部23名・中学部11名・高等部 15名) 知的障害 245名(小学部95名・中学部62名・高等部88名)		④			基礎・基本の教科学習や社会性の学習を通じての基本的な生活習慣の習得。	
情報	学級数	肢体不自由 18学級(小学部9学級・中学部4学級・高等部5学級) 知的障害 45学級(小学部19学級・中学部13学級・高等部13学級) 計63学級		報	学校評価	⑤	併置校の利点を活かした教育活動の展開	
	スクールバス	16台(大型3台、中型11台、小型2台)				39.6%(直接的交流 31.8% 61名、間接的交流 7.8% 15名)		
その他	その他	なし		報	ホームページ	回答率:児童・生徒 88.5%、保護者88%、教員100% 関係機関66% 満足度(4段階評価):【保護者】3.5 【教員】3.5		
	その他	なし				http://www.akiruno-sh.metro.tokvo.jp		

目指す学校	1 一人一人を大切にしたい学校 4 健康で安全な生活を送れる学校	2 児童・生徒の可能性を伸ばす学校 5 家庭・地域社会から信頼される学校	3 専門性を発揮する学校 6 教職員が主体的意欲的に働くことができる学校
-------	-------------------------------------	---	---

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	1 人権を尊重した教育の充実 ①「君、さん」づけの呼名の徹底 ②人権を尊重し、体罰のない指導を徹底する。 ③人格を否定する乱暴な態度・ことば、追い込む指導等の禁止 ④挨拶の奨励と全教職員で児童・生徒を指導・支援する意識の徹底 ⑤いじめ防止基本計画の速やかな策定と計画に基づく指導の徹底	○全教活動を通して、自己肯定感、互いの尊重、感動できる豊かな心の育成を図った。 ○人権に関する研修会を実施し、「君さん」づけの呼名の徹底など児童・生徒の人権に配慮した指導方法の徹底を図った。 ○研修会の実施や日頃からの注意喚起による体罰の徹底排除やいじめ防止基本計画の速やかな策定を通していじめの早期発見の推進と根絶と防止の徹底を図った。	
目標②	保護者の方と共に考える教育の充実 ①一人一人に応じた、障害特性に応じたわかりやすい指導の充実 ②外部専門家(家)との連携による教員の専門性の向上及び学習習得状況把握表等のアセスメントを活用した授業改善 ③障害特性に応じた指導の推進と児童・生徒にとってわかりやすい授業の実施(あきる野の授業)	○外部専門家と連携を深め、児童・生徒の実態把握のためのアセスメントの実施と結果の個別指導計画への反映を行った。まだ、十分な成果は上げられていないが、今後も継続して取り組んでいく。 ○自立活動指導計画の作成や健康管理指針の作成と個別指導計画との連携による一人一人の障害の特性に応じた指導の充実を図った。今年度は、初めの年度であったため、研修活動を連携して一層の充実を図る。 ○児童・生徒のにとってわかりやすい授業を目指し「あきる野の授業」を定め、授業研究などと活用した。	
目標③	新学習指導要領への対応と教育課程の充実 ①教育課程検討委員会の設置による次年度の教育課程改善に向けた円滑な準備 ②新学習指導要領を見据えた、「読む、聞く、話す等の国語科の目標を視点として研究活動の実施 ③高等部類型化に伴う授業改善と指導内容表の作成	○新学習指導要領の大きなテーマである「カリキュラムマネジメント」のシステム構築のため、教育課程検討委員会等を中心に学校評価の反省を生かした次年度の教育課程編成を行った。 ○研修活動として、新学習指導要領の理解と授業研究を実施し、教職員に新学習指導要領の理解を深めた。 ○各学部において新学習指導要領に基づく指導内容表の作成を始めた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	人権尊重教育の推進(学校評価保護者の高評価)							85%	95%	90%	90%	90%
目標②	個別指導計画の充実と外部専門家やアセスメントの反映(学校評価保護者の高評価)							80%	96%			
目標③	研究授業(校内授業公開)の実施							100回	173回			

